



▲ 授産施設で和紙のハガキを製作する希望の家すばるの皆さん(写真左)と、道の駅いながわなどで販売する園芸商品育てる猪名川園の皆さん(写真右)

人も街も もっとやさしく

～ 障害を知り 心のバリアをなくそう！～



障害は身近なもの

私達のまわりには、体の機能や精神に障害のある人達がたくさん暮らしています。障害のある人の多くは、社会の中でたくさんの困難を抱えているのです。

12月9日は「障害者の日」、そしてその日を最終日とした12月3日から同9日までの1週間は「障害者週間」です。本町では、障害のある人達が社会参加をしながら、安心して心豊かに暮らしていけるよう、さまざまなサポートを行っています。

障害のあるなしにかかわらず、すべての人達が共に生き、障害のことを共に考えていくことのできる社会となるよう、障害者福祉への理解と関心を高めていきたいと思います。

がら生活しています。反対に、普段健康で社会生活を営むのに何の支障もなく生活している人の多くは「障害は自分に関係のないこと」と思いがちですが、今障害のない人も、不慮の事故や病気、老化などで誰もが身体や知能・精神に障害を負う可能性を持っているのです。

現在、日本では国民の5%程度の人達に何らかの障害があります。また、内閣府が実施した世論調査では「自分自身や親族に障害がある」という人は全体の2割、「ご近所や学校・職場など身近に障害のある人がいる」と答えた人は約6割という統計が出ています。

ます。このような統計からも、障害は私達にとってごく身近なものといえます。

町内にある2つの授産施設

猪名川町には、障害者福祉センター内にある「希望の家すばる」と、清水地区にある「ユウカリ福祉会 猪名川園」の2つの授産施設があります。授産施設とは、障害などがあり一般企業に雇用されることが難しい人達が、社会参加や就労自立を目的に、職業訓練と生活の両面を支援する施設です。

身体障害や知的障害のある15人が利用している「希望の家すばる」では、クッキー・和紙のハガキ・アームバンド・さをり織り・木工などの製作を行っています。完成した商品は、障害者福祉センターや道の駅いながわ、町内のイベントなどで販売しています。

また、知的障害者29人が利用する「ユウカリ福祉会 猪名川園」では、町内25カ所の公園清掃をはじめ、下請けの仕付け作業やタオル詰め、また寄せ植えやミニ盆栽の園芸商品、竹や木で作ったぬくもりある商品を作り販売しています。来年、20周年を迎える同施設では、5月に地域の人達を招き、記念式典や模擬店を行う予定です。

いながわエイブルアート2006 開催

ABLE ART INAGAWA 2006

とき：12月2日(土)～同10日(日)

ところ：生涯学習センター

主催：町手をつなぐ育成会



障害者週間にあわせ、障害のある人達の芸術作品を紹介する展示会「いながわエイブルアート2006」を開催します。

エイブルアート(可能性の芸術)に出展されている障害のある人達の生み出す作品は、既成概念に縛られた私達の芸術観や美術観を一変させるパワーに満ちたものが数多く存在します。そのみずみずしい感性は、見るものの心に直接響いてきます。

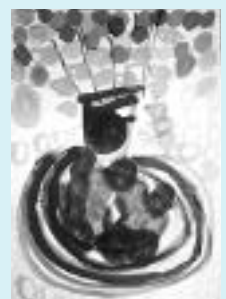
ぜひこの機会に、素晴らしい作品の数々をご観覧ください。

問い合わせは、社会福祉協議会(766-2525)へ。

喫茶コーナーのご利用を

生涯学習センター内一階談話室では、希望の家すばるの利用者やボランティアスタッフが、喫茶コーナーを開いています。ちょっとした休憩にぜひご利用ください。

開所日 水・木・金 午前11時～午後2時(ラストオーダー同1時30分)
内容 飲み物・軽食



▲堀雅和さん作 花



▲鳩宿高一さん作 自動車

思いやりの心を大切に

障害と一言でいっても、種類や程度はさまざまです。知的障害や精神障害、内蔵の障害など外見だけではわからない人達もたくさんいます。

皆さんは、障害のある人に対して思い込みで接していませんか？障害のある人にも障害の程度や内容によって、できることはたくさんあります。必要以上に手を貸すことで、相手の心を傷つけてしまう場合もあります。まずは相手の障害を理解し、その立場に立ち、どのようなサポートが必要なのか相手の望むことを聞き出し、具体的に実行していくことが大切です。

共に生きる社会づくり

日常生活を送る中で、障害のない人には何でもないこと

今月号の主な内容

2面「人権についてもう一度考えてみよう」
3面「12月は地球温暖化防止月間」
4面「5面」
6面「上半期財政事情を公表」
7面「図書館」
8面「いながわ特派員報告」

障害について理解しよう

障害者週間に合わせて、次の事業を行います。

啓発講演会

▼とき 12月4日(月)午後1時30分～同3時

▼ところ 総合福祉センター

▼テーマ 障がいをもつ方の成年後見制度の利用とその実体について

▼講師 迫田博幸さん(リールサポーター兵庫県支部長)

▼街頭啓発活動

▼とき 12月8日(金)午前11時

▼ところ ジャスコ猪名川店

問い合わせは、社会福祉協議会(766-2525)へ。